神運健発5 第 64 号
令和 5 年 11 月 10 日

事業主 殿

神奈川運輸業健康保険組合
理事長 高橋 浩治

事業主の証明による被扶養者認定の円滑化の取扱いについて

拝啓 ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は当健康保険組合の事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全世代型社会保障構築本部において「年収の壁・支援強化パッケージ」が決定され「事業主の証明による被扶養者認定の円滑化」を下記のとおり実施することになりましたのでご案内いたします。尚、今回の措置は令和 7 年に予定されている次期年金制度改正に向けての当面の措置となります。下記内容についてご確認の上、事務手続きにご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

健康保険の被扶養者認定の要件として、認定対象者の年間収入が 130 万円未満（60 歳以上及び障がい者については 180 万円未満）であること等とされております。しかし今回の措置において、一時的な変動により収入が増加し、直近の収入に基づく年収の見込みが 130 万円以上となる場合でも、直ちに被扶養者認定を取り消すのではなく総合的に将来収入の見込みを判断することとなります。

【開始時期について】

令和 5 年 10 月 20 日以降の被扶養者認定及び被扶養者の収入確認において適用となります。

【上限について】

仮に上限を設けた場合、当該上限が新たな「年収の壁」となり兼ねないこと、また収入金額のみでは判断が困難であることから、雇用契約書を踏まえて当該増収が一時的なものかどうか判断することとなります。従いまして、具体的な上限額についてはお示しいたし兼ねます。

尚、被扶養者の年収が被保険者の年収を上回る場合には被扶養者認定は取消しとなります。

【一時的な変動とは】

一時的な収入増加の要因としては、時間外勤務（残業）、臨時的な繁忙手当等が想定されます。基本給（時給）が上がった場合等、恒常的に 130 万円以上となることが明らかである場合は、一時的な変動と認められません。

【事業主の証明について】

令和5年10月20日以降の被扶養者認定、被扶養者資格確認調査（検認）において、上記の取扱いを希望される場合には、他の提出書類に追加して以下の書類を提出してください。

被扶養者の収入確認に当たっての「一時的な収入変動」に係る事業主の証明書（別添）

尚、被扶養者認定に当たっては全ての提出書類を確認の上、総合的に判断いたしますので証明書の提出を以て必ず認定されることとはならないことをご留意ください。

以上